

すくも
自主防災会だより第
24
号

平野地区の自主防災活動

【1】地区の状況

平野地区は、市中心部より車で松田川沿いを北へ約15分の場所に位置し、まわりを山に囲まれ、集落の前を松田川が流れている地形に位置しています。

大地震による津波被害の想定はありませんが、大地震による家屋倒壊や台風などの大雨による土砂災害のおそれがあり、大規模災害時には集落の孤立や断水も想定されることから、地域の自主防災活動を重要視しております。

- ① 防災器具の点検、操作訓練
- 防災備蓄倉庫に整備している自家発電機などの各種資機材の点検を行い、実際に稼働させてみるなどの訓練を定期的に行っています。
- ② 消火訓練
- 使用期限の近づいた消火器等を実噴射する訓練を行い、いざという時に消火器を迅速に使用できるよう訓練を行います。

平野地区自主防災会
会長 白土 順一

【問】危機管理課
☎ 63-0951



- 【2】活動内容
- ① 防災器具の点検、操作訓練
- 防災備蓄倉庫に整備している自家発電機などの各種資機材の点検を行い、実際に稼働させてみるなどの訓練を定期的に行っています。
- ② 消火訓練
- 使用期限の近づいた消火器等を実噴射する訓練を行い、いざという時に消火器を迅速に使用できるよう訓練を行います。

- 【3】今後の活動
- 今後も大規模災害発生時の混乱に備えるために、防災資機材の点検や操作訓練を重ねるとともに、地区住民や関係機関との連絡手段の周知徹底を行うなど日頃からの自主防災活動を更に深めていきたいと考えています。

ました。
③ 断水対策

先ほども述べたように大規模災害時においては、集落の上流部の水源を確保することから、集落の中を流れる谷川の上流部の水源を確保することです。

道路についても自主防災活動の中で路面整備を行っています。また、水源までの通路となる林の整備を行っています。

昨年8月に東北・北海道に大きな被害をもたらした台風10号では、岩手県の高齢者施設で「避難準備情報」の意味が理解されず、避難行動がとられなかつたため高齢者が犠牲となりました。

これを受けて国は、いざという時にるべき行動が分かりやすいように避難情報の名称を変更しました。

避難情報は、災害の危険が差し迫っていることを住民の皆さんにお知らせし、避難を呼びかけるものです。市内に避難情報を発令した場合、テレビ、ラジオ、インターネットのほか、屋外スピーカーや宿毛市防災アプリでもお知らせします。

今後は、宿毛市でも変更後の名称でお知らせしますので、るべき避難行動について再度ご確認ください。

「避難情報」の名称が変わります

いざという時にるべき避難行動を確認しましよう

るべき行動

避難準備・高齢者等避難開始

変更後

避難準備・高齢者等避難開始

変更前

避難準備情報



避難勧告



避難指示（緊急）



避難指示（緊急）

災害による危険性が高まった状態です。避難場所へ避難ましょ。外が危険な場合は、屋内の高いところに緊急に避難してください。

避難勧告

災害による危険性が非常に高まった状態です。まだ避難していない場合は、直ちにその場所から避難をしましょ。外が危険な場合は、屋内の高いところや山側から離れた部屋に緊急に避難してください。

災害による危険性が非常に高まった状態です。まだ避難していない場合は、直ちにその場所から避難をしましょ。外が危険な場合は、屋内の高いところや山側から離れた部屋に緊急に避難してください。